

8月20日（月）

神様の民を励まそう

聖書朗読 ヘブル 12:1～6

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。

ヘブル 12:1

私は決して揺らぐことのない信仰を持った偉人たちを心から尊敬しています。彼らは私にとって大きな励ましとなっているからです。

ノアは箱舟建設の際の周りの人々の嘲笑や迫害を無視しました。アブラハムは神様への信仰を貫き通したので、その正義を認められました。ヨセフは自分の苦難に対し、「神はそれを、良いことのための計らいとなさいました」と告白したことで、そのすばらしい信仰が明らかにされました。エステル妃も「私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」という不動の信仰の持ち主でした。

彼らはみな、私たちと同じ人間です。彼らは私たちと同じように生活し、食べて、寝て、また様々な悩みや問題も抱えていました。しかし、彼らは神様が失望なさることをしませんでした。妥協という言葉は彼らの辞書にありませんでした。

私たちを取り巻く天の軍勢が、もし私たちに見えていたとしたら、彼らはきっとこう言っているはずです。「がんばって！ あなたならできるはず！ あきらめないで！ 勝利はもう目の前まで来ています！」。私たちにもできるはずです。今日誰かに、逆境の壁を乗り越えることができると励ましてあげましょう。神様のみわざに、不可能はありません。

人生のレースを走っている神様の民に、エールを送りましょう。

聖歌 300

祈り 愛する尊い主よ。私たちのために死んでくださった御子イエス様と、あなたのみことばを私たちに与えて下さったことを感謝します。このみことばを、明るく大きな喜びをもって広めることができますように。

イエス様のすばらしい御名によって祈ります。アーメン。

ジョアン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポーテイルズ

今日の方

2012年8月20日～8月26日

翻訳 鈴木めぐみ

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月21日(火)

祈りとジャガイモ

聖書朗読 ヤコブ 2:14～16

たましいを離れたからだは、死んだものであるのと同様に、行いのない信仰は、死んでいるのです。
ヤコブ 2:26

聖書の勉強会で祈りについて学んでいたところ、ジャネットという新しいメンバーが、子どもの頃の経験を話してくれました。彼女の母親は、10人の子どもを育てている最中に未亡人となってしまう、この先どうやって子どもたちを養い、育てていけばいいのか途方に暮れていました。友人や近所の人々、教会のメンバーたちは彼女を慰めようと、よくこのように声をかけていたそうです。「あなたのことを祈っています」。

ジャネットはこう言いました。「母はよく首を横に振って、こんなふうにつぶやいていたわ。『祈りだけではジャガイモは買えないのよ。』」

ヤコブがそれぞれの教会に宛てた手紙には、クリスチャンがいかに必要に応えるべきかの指示が、はっきりと簡潔に記されています。ヤコブの手紙2章15～17節には、たとえ良心的な言葉が語られても、そこに行動が伴わなければ、その言葉は価値のないものになるとはっきり書かれています。それはつまり、「祈りだけではジャガイモは買えない」と言っているのではないのでしょうか。

私たちがキリストにあって新しく生まれた者であるなら

新しく生まれた私たちが世界に示さなければならない

私たちがキリストに従う者であるなら

私たちの日々の暮らしはキリストに従うものであるに違いない

——— ウイリアム・ロウ

讃美歌 391

祈り 主よ。傷ついたこの世にあって、私たちがあなたの手、あなたの足として、あなたの良きしもべとなれますように。私たちが祈る時「あなたの子どもたちに対して、私はどのように仕えればよいのでしょうか」と尋ねることができますように。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

マデリン・ピーターソン

ネブラスカ州 ヘイスティングス

8月22日(水)

夜のろうそくの灯

聖書朗読 Iペテロ 1:3～7

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ 5:16

電気のついた明るい部屋で1本のろうそくが灯っていても、気づく人はほとんどいないのではないのでしょうか。しかし他の照明が全て消された途端に、このろうそくの炎は暗闇の中で全ての中心となります。同じように、私たちの内に灯る神様からの光は、人生の苦難や逆境という暗い状況の中で、そこに焦点を合わせた時により大きくなります。

今日の聖書朗読の箇所では、ペテロは、「私たちの身に降りかかる全ての試練は、私たちの信仰が本物であることを証明し、主に対して栄光と名誉をもたらすことができるようになるためにある」と言っています。不安で先が見えない状態の中で、人々が私たちの中に心の強さや平安を見出した時、彼らはそれに目を留め、自分も同じような希望を持って人生に向き合っていきたいと願うことでしょう。この時点で、神様が自分の人生にどのように関わってくださったか、私たちの信仰を彼らと分かち合う準備ができています。

さあ今、キリストの光を放つ決心をしましょう。時が良くても悪くても、です。神様は、あなたの神様への信頼と、神様が照らしてくださる光を他の人に反射させることを通して、私たちには想像もできないほどの素晴らしいみわざを成し遂げてくださることでしょう。

聖歌 673

祈り 愛する主よ。あなたの力と愛を、人生を通して表わすことができますように、良い時も悪い時も、あらゆる環境を使うことができますように祈ります。その結果として、あなたの御名があがめられますように。

イエス様を通して祈ります。アーメン。

ジャン・ノックス

テキサス州 グランビューリー

8月23日（木）

雑草は生えていませんか

聖書朗読 Iヨハネ 1:5～9

私は、自分の罪を、あなたに知らせ、私の咎を隠しませんでした。私は申しました。「私のそむきの罪を**主**に告白しよう。」すると、あなたは私の罪のところがめを赦されました。
詩篇 32:5

雑草は、私の生活においては避けがたい現実そのものです。庭の手入れを2週間も怠ると、雑草は大切なバラの周りで、まるで文句をつけるかのようにはびこります。そして私の鼻先で頭をゆすって、抜いてくれるようにけしかけるのです。神様は今日、私にこれらの雑草をすっかり取り除く作業をする力を与えてくださいました。雑草は簡単に抜け、私は良い仕事ことができました。

庭で作業する時、私は地上で最初に造られたエデンの園のことを考えます。地球上でもっとも完璧な園です。そして今日、私の心に生えている雑草は、その園で人間の傲慢と不従順から始まった罪の結果によるものだと考えていました。

私の不従順な心こそ、心の雑草の種です。しかしイエス様の犠牲的な死と復活によって、神様はこの罪という雑草を、私の人生から取り除いてくださいました。次の日にはまた、雑草が私の心の庭に伸び始めることはわかっていますし、罪が私の生活の中で成長し続けることも知っています。しかし神様は私と共にいてくださり、その雑草を日々根こそぎ取り去って、私を再び新しくしてくださいます。私は神様の愛を経験し、神様がその優しい御手で私の心の庭の手入れをしてくださっていることに、感謝を覚えずにはいられません。

聖歌 415

祈り イエス様。私の庭で共に歩いてくださることに感謝します。神様、あなたからの全ての祝福と、私を愛してくださることに感謝します。人生の雑草を抜く時に、一緒にいてくださることに感謝します。

イエス様の御名によって祈ります、アーメン。

ジーン・ガン

テキサス州 ネダーランド

8月24日（金）

愛は決して裏切らない

聖書朗読 詩篇 57:5～11

こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。
Iコリント 13:13

愛は、人間関係において最も優れた癒しの業です。アメリカの精神科医カール・メニンガーは次のように言っています。「愛は受けた者だけでなく、与える者をも癒す」。神様の形に似せて造られた私たち人間は、愛を与え、受けるために創造されました。神様は愛であり、こう仰せられます。『永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。』（エレミヤ 31:3）。愛は感情であると同時に、行動でもあります。神様の愛には行動が伴います。『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。』（ヨハネ 3:16）。そして使徒パウロも私たちに、本物の愛による行動のリストを書き記してくれました。

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。

愛は自慢せず、高慢になりません。

礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。

すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。

愛は決して絶えることがありません。

(Iコリント 13:4～8a)

あなたの心の中にある愛は、行動を起こしているでしょうか。今日、神様からの愛を受け取り、このパウロのリストのうち一つを選んで実行してみましょう。きっと心が癒されるはずです。

讃美歌・第二編 184

祈り 愛する私たちの父なる神様。あなたの愛と慈しみに感謝します。どうか私たちの罪を赦し、愛に向かって進むことができるよう、私たちを導き続けてください。

イエス様の御名によって、アーメン。

S・ビル・ジメネズ

カリフォルニア州 サンフランシスコ

8月25日(土)

「正しく」あること

聖書朗読 詩篇 63編

私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。

Iヨハネ 4:16

「それはあなたの誤解です!」。口論の最中やストレスがかかった状況にある時、私たちは何度、この言葉を発しているでしょうか。また「自分は何も間違ったことはしていないから謝る必要はありません!」。あるいはこれはどうでしょう。「あなたにはそう聞こえたかもしれないけれど、言葉を取り違えたのでしょうか。私はそんなことは言っていない。単にそう聞こえただけでしょう」。

時に私たちは、プライドが邪魔をして、他人に対して何か攻撃的な言葉を発してしまったかもしれないことを、素直に認められないことがあります。自分自身に対する誠実さに欠けた結果、私たちは神様と同じチームに属していることが見えなくなってしまったのかもしれない。

神様が愛であるならば、なぜ私たちはもっと愛を示そうと努力しないのでしょうか。私たちは、自分の責任ではないケガや、故意でなくついていた傷であっても、それを癒す手当をすべきだと思うのです。

私たちは、相手が「ごめんなさい」と謝るまで死闘を繰り広げたり、集団が分裂するまで闘いを続けるでしょうか。自分が「正しく」あるためなら、自らの魂を失うこともいとわないでしょうか。私たちは皆罪人であり、本来ならば無償で与えられる救いを受ける資格はありません。兄弟姉妹の皆さん、謙遜でありましょう。神様は愛なのですから、私たちも互いに愛し合おうではありませんか。

讃美歌 87B

祈り 父よ。どうか私たちの自分勝手な心を赦してください。私たちの心を聖霊で満たしてください。そうすれば私たちは、あなたが豊かに与えてくださった愛を他の人にも与えることができますから。

御子イエス様の御名によって。アーメン

ジーナ・N・カー克蘭ド・ホーガン

サウルキャロライナ州 コロンビア

8月26日(日)

引越中のような生活

聖書朗読 ヘブル 8:8~22

これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。

ヘブル 11:13

引越中のような生活——それはまさに今の私たちの状況です。そしてあなたがこれを読む頃には、私たちは別の町の別の家に引っ越していることでしょう。ところで移行期間中、私たちは次のことに気づきました。

1. 持っている物の全てが必要なわけではない。
2. この地上では、全てを丸くおさめることはできない。一方の家族の近くに引っ越すことは、恐らく他方の家族からは遠くなる。一方には嬉しいことだが、他方にとっては残念なことである。自分が住む場所での人間関係は、想像以上に重要なものである。
3. ある教会での10年以上の長い交わりを振り返ると、同じ信仰をもつ兄弟姉妹と毎週会うことが、いかに価値あることだったかがわかった。共に礼拝し、友情を深め、喜びや悲しみを分かち合うことで、「クリスチャンの愛の交わり」が本当に存在することに気づいた。
4. 普遍的な環境はないこと、そしてそれは良いことである。今の家は私の故郷ではなく、通過点にすぎない。私たちにとって本当に大切なものは、全て永遠なる場所にある。
5. 想像以上に壁には多くのくぼみやへこみがあり、カーペットには染みがついている。それは人を謙虚にさせる。

最後に、あなたがどこへ行こうとも、そして私たちがどこに引っ越そうとも、「今日の力」があることを覚えていてください。

聖歌 628

祈り お父様。あなたは私たち用に用意してくださっているご計画をご存知で、それらは良いものです。あなたが約束を実現なさる方であることを、私たちが信じることができますように。

イエス様の尊い御名によって。アーメン。

スティーブ・S・レムリー

共同編集者